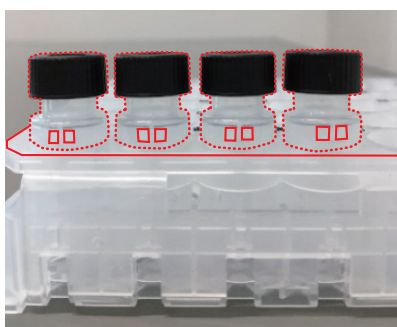


機能性と利便性を追求した設計

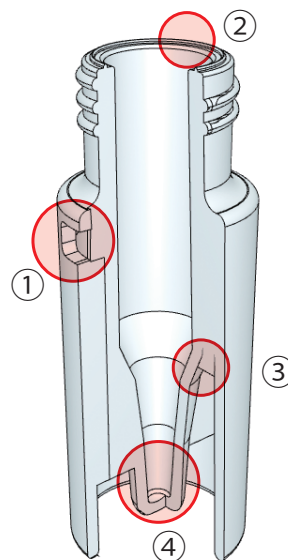
① 試料の効率的な温度管理

PP 製バイアルはガラス製バイアルと比べ熱伝導性が低いですが、このバイアルと SIL-40 シリーズ（空冷型）の冷却機能を組み合わせることで、下図のような空気の流れを生み出し、効率的に温度管理することが期待できます。

（島津製作所製オートサンプラ SIL-40 シリーズはバイアル下部から上方向に空冷する仕様となっています。）

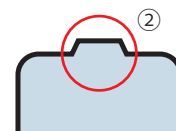


1.5 mL 試料びん用プレート（P/N：228-71762-46）をご使用の際は、バイアルをプレートに対し垂直に奥まで挿入してください。
バイアルが斜めに設置された場合、ニードルがセプタム中心からずれた位置で挿入され、サンプルの吸引不良等の原因になります。



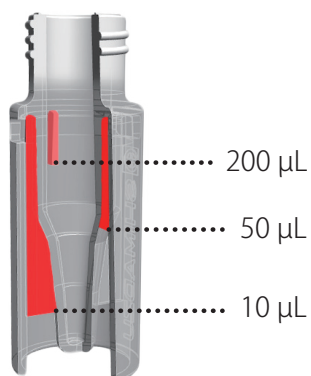
② 密閉性の向上

セプタム接触部の構造の一部を突起形状にすることで、セプタムとの密閉性を高めています。



③ 容量目盛付き

10、50、200 μ Lの位置にリブを設けました。



④ 少量試料のサンプリング対応

最小残存量（試料吸引後バイアル内に残存する量）は以下の通りです。

試料溶媒＝水：6 μ L

試料溶媒＝アセトニトリル：8 μ L



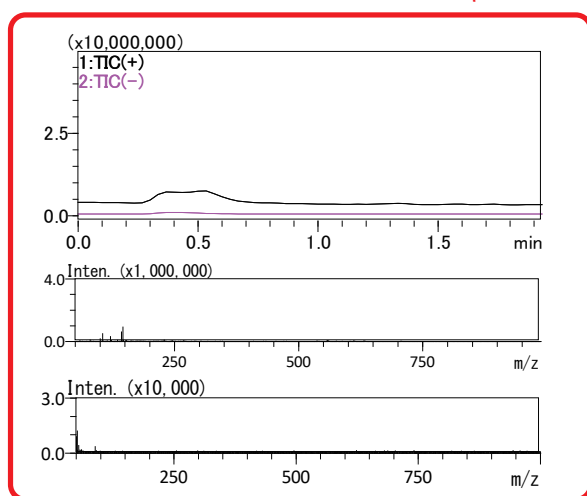
※ SIL-40 でのニードルストローク初期値による検証結果です。

TORAST™ PP Vial（スクリュー）

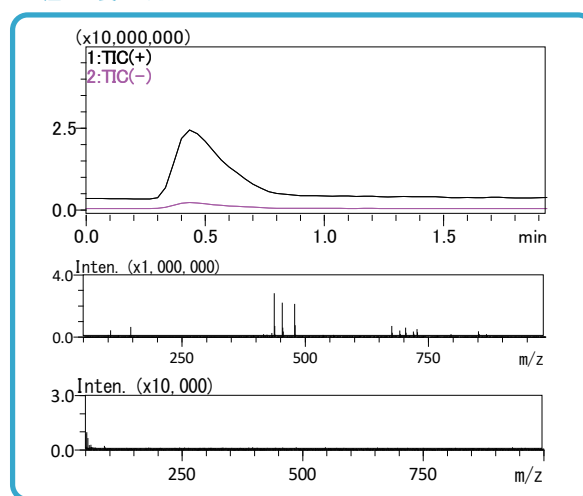
低ブリード性能の発揮

TORAST™ PP Vial（スクリューキャップ型、300 µL 容量）および他社 PP 製バイアルに、アセトニトリル/水混液(9/1)を200 µL 加え、15 °Cで静置し、試料としました。この試料をフローインジェクション法で LC-MS に導入し、得られたトータルイオンクロマトグラム（TIC）およびマススペクトルを以下に示します。当社バイアルは A 社 PP 製バイアルと比較してバイアル由来のブリードが少ないことが確認できます。このことから、TORAST™ PP Vial（スクリューキャップ型、300 µL 容量）は微量分析において威力を発揮し、分析の信頼性確保に貢献します。

TORAST™ PP Vial（スクリューキャップ型、300 µL 容量）



A 社 PP 製バイアル



Instruments	Nexera X2, LCMS-2020
Ionization	ESI Positive, ESI Negative
Mobile Phase	CH ₃ CN/H ₂ O = 50/50
Flow rate	0.2 mL/min.
Temperature	40 °C
Inj. Volume	20 µL
m/z	50 - 1000